

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	現代の国語（1年）	単位数：1単位 [標準単位：2単位]	前期	遠藤寿一

指導目標

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 14 回	面接指導：3回 講義：9回	教科書	『高等学校 現代の国語』（第一学習社）
レポート	全 3 回	添削指導：3回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期：2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	小説「夢十夜」(夏目漱石) ①		○	
2	4/22	火	小説「夢十夜」(夏目漱石) ②		○	
3	5/13	火	小説「夢十夜」(夏目漱石) ③		○	
4	5/20	火	小説「夢十夜」(夏目漱石) ④		○	
5	5/27	火	レポート作成	○		レポート 第1回
6	6/4	水	中間試験			
7	6/10	火	評論「水の東西」(山崎正和) ①		○	
8	6/17	火	評論「水の東西」(山崎正和) ②		○	
9	6/24	火	評論「水の東西」(山崎正和) ③		○	
10	7/1	火	評論「水の東西」(山崎正和) ④	○		レポート第2回
11	7/8	火	レポート作成		○	
12	7/15	火	表現編「話して伝える」①		○	
13	9/2	火	表現編「話して伝える」② レポート作成	○		レポート第3回
14			期末試験			
15						

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	現代の国語（2年）	単位数：1単位 [標準単位：2単位]	前期	遠藤寿一

指導目標

1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 14 回	面接指導： 3回 講義： 9回	教科書	『高等学校 現代の国語』（第一学習社）
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	評論 『本当の自分』幻想(平野啓一郎) ①		○	
2	4/22	火	評論 『本当の自分』幻想(平野啓一郎) ②		○	
3	5/13	火	評論 『本当の自分』幻想(平野啓一郎) ③		○	
4	5/20	火	評論 『本当の自分』幻想(平野啓一郎) ④		○	
5	5/27	火	レポート作成	○		レポート 第1回
6	6/4	水	中間試験			
7	6/10	火	評論 「ものとことば」(鈴木孝夫) ①		○	
8	6/17	火	評論 「ものとことば」(鈴木孝夫) ②		○	
9	6/24	火	評論 「ものとことば」(鈴木孝夫) ③		○	
10	7/1	火	評論 「ものとことば」(鈴木孝夫) ④		○	
11	7/8	火	レポート作成	○		レポート第2回
12	7/15	火	表現編「書いて伝える」①		○	
13	9/2	火	表現編「書いて伝える」② レポート作成	○		レポート第3回
14			期末試験			
15						

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	現代の国語	単位数： 1単位 [標準単位： 1単位]	半期	石見 仁唯奈
指導目標				
1. 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 2. 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めることができる。				
スクーリング	全 15 回	面接指導： 3回 講義： 7回	教科書	第一学習社
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	プリント
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定	評定	100点法5段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	羅生門①	○		第1回( 4/28 )
2	4/21	月	羅生門②		○	
3	4/28	月	羅生門③		○	
4	5/12	月	無彩の色①	○		第2回 ( 5/26 )
5	5/19	月	無彩の色②		○	
6	5/26	月	無彩の色③		○	
7	6/2	月	中間試験			第3回 ( 7/7 )
8	6/9	月	砂に埋もれたル・コルビュジェ①	○		
9	6/30	月	砂に埋もれたル・コルビュジェ②		○	
10	7/7	月	砂に埋もれたル・コルビュジェ③		○	
11	9/1	月	話して伝える		○	
12	9/8	月	期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	言語文化（1年）	単位数：1単位 [標準単位：2単位]	後期	遠藤寿一

指導目標

1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 17 回	面接指導： 3回 講義： 12回	教科書	『高等学校 現代の国語』（第一学習社）
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	後期： 2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/4	土	古文を読むために 1		○	
2	10/14	火	古典のしるべ 平仮名の誕生		○	
3	10/21	火	説話 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) ①		○	
4	11/4	火	説話 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) ②		○	
5	11/11	火	レポート作成	○		レポート 第1回
6	11/18	火	中間試験			
7	11/25	火	説話 「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語) ①		○	
8	12/2	火	説話 「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語) ②		○	
9	12/9	火	説話 「絵仏師良秀」(宇治拾遺物語) ③		○	
10	12/16	火	レポート作成	○		レポート第2回
11	1/13	火	漢文の学習		○	
12	1/20	火	訓読に親しむ (一) / 漢文を読むために 1		○	
13	1/27	火	訓読に親しむ (二) / 漢文を読むために 2		○	
14	2/3	火	訓読に親しむ (三) / 漢文を読むために 3		○	
15	2/10	火	学習の手引き		○	
16	2/17	火	レポート作成	○		レポート第3回
	10/14	火	期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	言語文化（2年）	単位数：1単位 [標準単位：2単位]	後期	遠藤寿一

指導目標

1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力をのばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
3. 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

スクーリング	全 16 回	面接指導： 3回 講義： 11回	教科書	『高等学校 現代の国語』（第一学習社）
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	後期： 2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	10/4	土	物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ①		○	
2	10/14	火	物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ②		○	
3	10/21	火	物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ③		○	
4	11/4	火	物語「なよ竹のかぐや姫」(竹取物語) ④		○	
5	11/11	火	レポート作成	○		レポート 第1回
6	11/18	火	中間試験			
7	11/25	火	物語「筒井筒」(伊勢物語) ①		○	
8	12/2	火	物語「筒井筒」(伊勢物語) ②		○	
9	12/16	火	物語「筒井筒」(伊勢物語) ③		○	
10	1/13	火	物語「筒井筒」(伊勢物語) ④		○	
11	1/20	火	レポート作成	○		レポート第2回
12	1/27	火	唐詩の世界「静夜詩」(李白) / 「送元二使安西」(王維)		○	
13	2/3	火	唐詩の世界「春望」(杜甫) ①		○	
14	2/10	火	唐詩の世界「春望」(杜甫) ②		○	
15	2/17	火	レポート作成	○		レポート第3回
			期末試験			

## 2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者		
国語	言語文化	単位数： 1単位 [標準単位：1単位]	半期	石見 仁唯奈		
指導目標						
1. 言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する 2. 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈する 3. 特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにする						
スクーリング	全 15 回	面接指導： 3回 講義： 7回	教科書	第一学習社		
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 2回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学期： 2回	副教材	プリント		
定期試験評価割合	70 %		評定	100点法5段階評定		
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	9/29	月	伊勢物語 芥川①	○		第1回( 11/17 )
2	10/6	月	伊勢物語 芥川②		○	
3	10/20	月	伊勢物語 芥川③		○	
4	11/10	月	俳句		○	
5	11/17	月	短歌	○		第2回( 12/8 )
6	11/20	月	中間試験			
7	12/1	月	江雪		○	
8	12/8	月	江雪、涼州詞		○	第3回( 1/19 )
9	12/15	月	涼州詞		○	
10	1/19	月	論語		○	
11	1/26	月	試験まとめ	○		
12	2/2	月	期末試験			



教科	科目		期間	担当者
地歴	歴史総合		単位数： 2単位 [標準単位： 2単位]	年間 北田 邦夫
指導目標				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
スクーリング	全 32 回	面接指導： 13 回 講義： 12 回	教科書	実教出版 歴史総合
レポート	全 17 回	添削指導： 10 回 その他： 7 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	学 期： 2 回	副教材	なし
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	「歴史総合」とはどんな科目？1,プレテスト	○		第 1 回(4/15)
2	4/22	火	2,江戸時代の日本と東アジア	○		第 2 回(4/22)
3	5/13	火	3,イギリスの産業革命①		○	
4	5/20	火	3,イギリスの産業革命②・アメリカ独立戦争①		○	
5	5/27	火	3,アメリカ独立戦争②・4,フランス革命①	○		第 3 回(5/27)
6	6/3	火	前期中間試験	/	/	
7	6/10	火	試験返却・4,フランス革命②革命とナポレオン	○		第 4 回(6/10)
8	6/17	火	5,アメリカ合衆国の発展(南北戦争)とラテンアメリカの独立①		○	
9	6/24	火	5,アメリカ合衆国の発展(南北戦争)とラテンアメリカの独立②	○		第 5 回(6/24)
10	7/1	火	6,アヘン戦争の衝撃と日本の開国①		○	
11	7/8	火	6,アヘン戦争の衝撃と日本の開国②	○		第 6 回(7/8)
12	7/15	火	7,江戸幕府の滅亡①		○	
13	9/2	火	7,江戸幕府の滅亡②	○		第 7 回(9/2)
14	9/9	火	前期期末試験	/	/	
	9/〇		試験返却(特別時間割)	/	/	
15	10/4	土	8,明治政府の諸改革	○		第 8 回(10/4)
16	10/14	火	9,日本のアジア外交と国境問題	○		第 9 回(10/14)
17	10/21	火	10,自由民権運動と大日本帝国憲法①		○	
18	11/4	火	10,自由民権運動と大日本帝国憲法②	○		第 10 回(11/4)
19	11/11	火	11, 帝国主義の時代へ	○		第 11 回(11/11)
20	11/18	火	後期中間試験	/	/	
21	11/25	火	試験返却			
22	12/2	火	12, 日清戦争と東アジア①		○	
22	12/9	火	12, 日清戦争と東アジア②	○		第 12 回(12/9)
23	12/16	火	13,日露戦争と東アジアの変動①		○	
24	1/13	火	13,日露戦争と東アジアの変動②	○		第 13 回(1/13)
25	1/20	火	14,第一次世界大戦とヴェルサイユ体制・アジアの民族運動①	○		第 14 回(1/20)
26	1/27	火	15 アジアの民族運動②(VTR ガンジーの非暴力の戦い)	○		第 15 回(1/27)
27	2/3	火	16,生徒の疑問&ガンジーはなぜ非暴力の戦いで勝利できたの	○		第 16 回(2/3)

			か？			
28	2/10	火	17,インド民衆はなぜガンジーの非暴力運動を支持したのか？	○		第17回(2/10)
29	2/17	火	18,暴力と非暴力ではどちらがメリットが多いか？	○		第18回(2/17)
30	2/○		後期期末試験			
	3/3	火	試験返却 (特別時間割)			

教科	科目		期間	担当者
地歴公民	公共		年間	鈴木浩正
単位数：2単位 [標準単位：2単位]				
<b>指導目標</b> 人間と社会についての見方や考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質能力を育成する。 1. 諸資料から倫理的主体などを通じて活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 2. 選択・判断の手がかりとなる考え方、公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。 3. 現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚などを深める。				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 7 回 講義： 19 回	教科書	第一学習社 高等学校 新公共(教711)
レポート	全 6 回	添削指導： 7 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期期末： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	(木)	公共的な空間を生きる私たち		○	第1回レポート (5/8)
2	4/24	(木)	公共的な空間をにおける人間としてのあり方生き方		○	
3	5/8	(木)	善く生きるとは？（添削指導）	○		
4	5/15	(木)	公共的な空間における基本原理①		○	第2回レポート(1枚) (5/29)
5	5/22	(木)	公共的な空間における基本原理②		○	
6	5/29	(木)	添削指導	○		
7	6/5	(木)	中間試験			
8	6/12	(木)	試験返却		○	
9	6/19	(木)	法や規範の意義と役割①		○	第2回レポート(1枚) (6/26)
10	6/26	(木)	法や規範の意義と役割②（添削指導）	○		
11	7/10	(木)	法や規範の意義と役割		○	第3回レポート (9/18)
12	9/4	(木)	政治参加と公正な世論形成		○	
13	9/11	(木)	期末試験			
14	9/18	(木)	試験返却(添削指導)	○		
15	10/2	(木)	様々な政治体制と日本の国会・内閣①		○	
16	10/9	(木)	様々な政治体制と日本の国会・内閣②		○	第4回レポート (11/27)
17	10/16	(木)	国際社会と国家主権①		○	
18	10/30	(木)	国際社会と国家主権②		○	
19	11/6	(木)	国際社会と国家主権③		○	
20	11/20	(木)	中間試験			
21	11/27	(木)	試験返却(添削指導)	○		
22	12/4	(木)	国際平和のために日本は何ができるだろうか①		○	第5回レポート (1/22)
23	12/11	(木)	国際平和のために日本は何ができるだろうか②		○	
24	1/8	(木)	市場経済の機能と限界①		○	
25	1/22	(木)	市場経済の機能と限界②(添削指導)	○		第6回レポート (3/5)
26	2/5	(木)	経済のグローバル化①		○	
27	2/12	(木)	経済のグローバル化②		○	
28	2/19	(木)	経済のグローバル化③		○	
29	2/26	(木)	期末試験			
30	3/5	(木)	試験返却(添削指導)	○		

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	鈴木 海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 8 回 講義： 10 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 8 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	授業説明・計算の基本 (p8~10)		○	第 1 回 (5/13)
2	4/22	火	単項式と多項式・次数 (p11~15)	○		
3	5/13	火	添削指導			
4	5/20	火	指数法則・展開・展開の公式 (1) (p16~21)	○		第 2 回 (5/27)
5	5/27	火	添削指導			
6	6/2 (月) ~6/5 (木) 中間試験					
7	6/10	火	展開の公式 (2) (p21~22)	○		第 3 回 (7/1)
8	6/17	火	因数分解 (p23)		○	
9	6/24	火	因数分解の公式 (1) (p24~25)		○	
10	7/1	火	添削指導			
11	7/8	火	因数分解の公式 (2) (p25~27)	○		第 4 回 (9/2)
12	7/15	火	展開・因数分解の工夫 (p28)		○	
13	9/2	火	添削指導			
14	9/8 (月) ~9/12 (金) 期末試験					
15	10/4	土	根号を含む式の計算 (1) (p29~31)	○		第 5 回 (11/11)
16	10/21	火	根号を含む式の計算 (2) (p32~33)		○	
17	11/4	火	実数 (p34~36)		○	
18	11/11	火	添削指導			
19	11/18 (火) ~11/21 (金) 中間試験					
20	11/25	火	1 次方程式 (p40~41)		○	第 6 回 (12/9)
21	12/2	火	不等式 (p42~45)	○		
22	12/9	火	添削指導			
23	12/16	火	不等式の解 (1) (p46~48)		○	第 7 回 (1/27)
24	1/13	火	不等式の解 (2) (p49~50)	○		
25	1/20	火	集合 (p136~138)		○	
26	1/27	火	添削指導			

27	2/3	火	命題 (1) (p139~141)		○	第8回 (2/17)
28	2/10	火	命題 (2) (p142~145)	○		
29	2/17	火	添削指導			
30	2/19 (木) ~2/26 (木) 期末試験					
	3/3 (火) ~3/5 (木) 試験返却					

教科	科目		期間	担当者
数学	数学 I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	鈴木海渡
指導目標				
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 各章の基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察し判断したりする力を養う。</p> <p>3. 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
スクーリング	全 29 回	面接指導： 8 回 講義： 9 回	教科書	数研出版 新 高校の数学 I
レポート	全 8 回	添削指導： 8 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	授業プリント（配布）
定期試験評価割合	70%		評定	100 点法 5 段階評定

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	授業説明・三平方の定理 (p100~101)		○	第 1 回 (5/13)
2	4/22	火	三角比 (p102~105)	○		
3	5/13	火	添削指導			
4	5/20	火	三角比の利用 (p106~109)	○		第 2 回 (5/27)
5	5/27	火	添削指導			
6	6/2 (月) ~ 6/5 (木) 中間試験					
7	6/10	火	三角比の相互関係 (p111~113)		○	第 3 回 (6/24)
8	6/17	火	鈍角の三角比 (p114~117)	○		
9	6/24	火	添削指導			
10	7/1	火	正弦定理 (p120~123)		○	第 4 回 (9/2)
11	7/8	火	余弦定理 (p124~127)	○		
12	7/15	火	三角形の面積 (p128)		○	
13	9/2	火	添削指導			
14	9/8 (月) ~ 9/12 (金) 期末試験					
15	10/4	土	1 次関数のグラフ (p58~61)		○	第 5 回 (11/11)
16	10/14	火	2 次関数のグラフ (1) (p62~65)		○	
17	10/21	火	2 次関数のグラフ (2) (p66~70)	○		
18	11/11	火	添削指導			
19	11/18 (火) ~ 11/21 (金) 中間試験					
20	11/25	火	平方完成 (p71~75)		○	第 6 回 (12/6)
21	12/2	火	2 次関数の最大値・最小値 (p77~81)	○		
22	12/16	火	添削指導			
23	1/13	火	2 次方程式・2 次不等式		○	第 7 回 (1/27)
24	1/20	火	度数分布表・代表値	○		
25	1/27	火	添削指導			
26	2/3	火	四分位数・箱ひげ図		○	

27	2/10	火	分散・標準偏差	○		第8回 (2/17)
28	2/17	火	添削指導			
29			2/19 (木) ~2/26 (木) 期末試験			
			3/3 (火) ~3/5 (木) 試験返却			

## 2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理 1年

教科		科目		期間	担当者	
理科		科学と人間生活		年間	福井 幸亮	
		単位数：2単位 [標準単位：2単位]				
指導目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
1. 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。						
2. 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。						
3. 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
スクーリング	全 31 回	面接指導： 16回 講義： 11回	教科書	第一 科人 705		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	序章 科学技術の発展	○		第1回 (5/13)
2	4/22	火	第Ⅱ章 生命の科学 第2節 微生物とその利用 1 身近な微生物 2 微生物の発見		○	第2回 (6/3)
3	5/13	火	3 生態系内の微生物(1) 4 生態系内の微生物(2)		○	
4	5/20	火	5 微生物の利用 6 食品と微生物(1) 7 食品と微生物(2)	○		
5	5/27	火	8 医薬品と微生物 9 微生物の利用の広がり	○		
6	6/2~6/5		前期中間試験			
7	6/10	火	答案返却		○	
8	6/17	火	第Ⅲ章 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 1 温度と熱運動		○	第3回 (9/9)
9	6/24	火	2 熱容量と比熱(1) 3 熱容量と比熱(2)	○		
10	7/1	火	4 熱の伝わり方 5 仕事や電流と熱の発生	○		
11	7/8	火	6 エネルギーの移り変わり 7 エネルギー資源の有効活用	○		
12	7/15	火	第Ⅰ章 物質の科学 第1節 材料とその利用 振りかえりと基本事項		○	第4回 (11/18)
13	9/2	火	1 プラスチックの特徴		○	
14	9/8~9/12		前期期末試験			
-	9/17~9/19		答案返却			

15	10/4	土	2 プラスチックの分類と用途(1) 3 プラスチックの分類と用途(2) 4 さまざまなプラスチック		○	第4回 (11/18)
16	10/14	火	5 金属と人間生活	○		
17	10/21	火	6 金属とその精錬(1) 7 金属とその精錬(2)	○		
18	11/4	火	8 金属のさびと合金 9 資源の再利用(1) 10 資源の再利用(2)	○		
19	11/11	火	第IV章 地球や宇宙の科学 第2節 太陽と地球 1 太陽と太陽系 2 太陽系を構成する天体		○	第5回 (1/13)
20	11/18~11/21		後期中間試験			
21	11/25	火	答案返却		○	第5回 (1/13)
22	12/2	火	3 太陽と人間生活(1) 4 太陽と人間生活(2)		○	
23	12/9	火	5 天体の動き	○		
24	12/16	火	6 太陽と月の動き(1) 7 太陽と月の動き(2) 8 太陽の動きと太陽暦	○		
25	1/13	火	第V章 これからの科学と人間生活 その1		○	第6回 (2/17)
26	1/20	火	第V章 これからの科学と人間生活 その2	○		
27	1/27	火	第V章 これからの科学と人間生活 その3	○		
28	2/3	火	第V章 これからの科学と人間生活 その4	○		
29	2/10	火	第V章 これからの科学と人間生活 その5	○		
30	2/17	火	第V章 これからの科学と人間生活 その6	○		
31	2/19~2/27		後期期末試験			
—	3/3~3/5		答案返却			

教科		科目		期間	担当者	
理科	化学基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]		年間	福井 幸亮	
<p>指導目標：物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>2. 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>3. 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>						
スクーリング	全 26 回	面接指導： 16回 講義： 6回	教科書	数研 化基 710		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	あり	学 期： 2回	副教材	なし		
定期試験の 評価割合	60 %	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1 混合物と純物質	○		第1回 (5/13)
2	4/22	火	2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動		○	
3	5/13	火	第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造	○		第2回 (6/3)
4	5/20	火	2 イオン 3 元素の周期表		○	
5	5/27	火	第3章 粒子の結合 1 イオン結合とイオンからなる物質	○		第3回 (9/9)
6	6/2~6/5		前期中間試験			
7	6/10	火	答案返却 2 分子と共有結合 その1	○		
8	7/1	火	2 分子と共有結合 その2	○		
9	7/8	火	3 共有結合の結晶	○		
10	7/15	火	4 金属結合と金属		○	
11	9/2	火	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量	○		第4回 (10/21)
12	9/8~9/12		前期期末試験			
—	9/17~9/19		答案返却			

13	10/4	土	2 物質量 その1	○		第4回 (10/21)
14	10/14	火	2 物質量 その2	○		
15	10/21	火	3 溶液の濃度	○		第5回 (11/18)
16	11/4	火	4 化学反応式と物質量 その1	○		
17	11/11	火	4 化学反応式と物質量 その2		○	
18	11/18~11/21		後期中間試験			
19	11/25	火	答案返却 第2章 酸と塩基の反応 1 酸・塩基	○		第6回 (1/13)
20	12/2	火	2 水の電離と水溶液のpH	○		
21	12/9	火	3 中和反応と塩	○		
22	12/16	火	4 中和滴定		○	
23	1/13	火	第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元	○		
24	1/20	火	2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応	○		
25	1/27	火	4 酸化還元反応の利用 ー電池・金属の製錬ー 終章 化学が拓く世界	○	○	
26	2/2~2/6		後期期末試験			
—	2/10~2/13		答案返却			

教科	科目		期間	担当者
理科	生物基礎	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	飯塚 浩
指導目標 1. 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 2. 将来にわたって自然を大切にする気持ちや科学技術に対する興味・関心をもち続けることの大切さを理解する。				
スクーリング	全 30 回	面接指導： 16 回 講義： 4 回	教科書	数研出版 新編 生物基礎
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法は総合点100点法5段階評定 総合点=試験素点(7割)+平常点(3割) 素点は定期試験の平均点 平常点はレポート点(2割)+出席点(1割)とする		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	ガイダンス 第1節 生物の多様性と共通性 ①生物の多様性 ②生物の共通性とその由来	○		第1回 (5/22) p20-p47
2	4/24	木	第2節 エネルギーと代謝 ③生物に共通する構造-細胞 ①生命活動とエネルギー	○		
3	5/8	木	第3節 呼吸と光合成 ①呼吸 ②光合成	○		
4	5/15	木	③エネルギーの流れ ④酵素の性質	○		
5	5/22	木	添削指導			
6	5/29	木	前期中間までの振り返り		○	
7	6/2(月)-6/5(木)		前期中間試験			
8	6/12	木	試験返却 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ①遺伝情報を含む物質-DNA	○		第2回 (6/26) p54-p57
9	6/19	木	②DNAの構造	○		
10	6/26	木	添削指導			
11	7/3	木	第2節 遺伝情報の複製と分配 ①細胞周期とDNA	○		第3回 (7/4) p62-p67
12	7/10	木	②遺伝情報の複製 ③遺伝情報の分配	○		
13	7/17	木	添削指導			
14	9/4	木	前期末までの振り返り		○	
15	9/8(月)-9/12(金)		前期末試験 (試験返却9/17(水)-9/19(金))			
16	10/2	木	第3節 遺伝情報の発現 ①遺伝情報とタンパク質	○		第4回 (10/30) p68-p77
17	10/9	木	②タンパク質の合成	○		
18	10/16	木	③細胞の分化と遺伝情報 ④遺伝子とゲノム	○		
19	10/30	木	添削指導			
20	11/6	木	前期中間までの振り返り		○	
21	11/18(火)-11/21(金)		後期中間試験			
22	11/27	木	試験返却 第3章 ヒトの体内環境の維持 第1節 体内での情報伝達と調節 ①体内での情報伝達	○		第5回 (12/18) p86-p99
23	12/4	木	②神経系による情報伝達と調節 ③内分泌系による情報の伝達と調節	○		
24	12/18	木	添削指導			
25	1/8	木	第2節 体内環境の維持のしくみ ①体内環境の維持	○		第6回 (2/5) p100-p113
26	1/22	木	②血液濃度の調節のしくみ	○		
27	1/29	木	③血液の循環のを維持する仕組み	○		
28	2/5	木	添削指導			
29	2/12	木	後期末までの振り返り		○	
30	2/19(木)-2/27(金)		後期末試験 (試験返却3/3(火)-3/5(木))			

教科	科目		期間	担当者
保健体育	保健		年間	名古屋大輔
単位数：2単位 [標準単位：2単位]				
指導目標 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。				
スクーリング	全 34 回	面接指導： 6 回 講義： 21 回	教科書	
レポート	全 6 回	添削指導： 0 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期末： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/15	火	1単元 01. 健康の考え方と成り立ち～02. 私たちの健康のすがた	○		
2	4/22	火	03. 生活習慣病の予防と回復～05. がんの治療と回復	○		
3	5/13	火	06. 運動と健康～08. 栄養・睡眠と健康		○	
4	5/20	火	09. 喫煙と健康		○	
5	5/27	火	10. 飲酒と健康		○	
	6/3	火	前期中間試験			
6	6/10	火	試験返却 11. 薬物乱用と健康		○	
7	6/24	火	12. 精神疾患の特徴～13. 精神疾患の予防	○		
8	7/1	火	14. 精神疾患からの回復		○	
9	7/8	火	15. 現代の感染症～16. 感染症の予防		○	
10	7/18	火	17. 性感染症・エイズとその予防		○	
11	9/2	火	18. 健康に関する意思決定・行動選択～19. 健康に関する環境づくり		○	
12	9/9	火	前期末試験			
	9/17		前期末試験返却		○	
13	10/4	土	2単元 01. 事故の現状と発生要因～02. 安全な社会の形成		○	
14	10/14	火	03. 交通における安全		○	
15	10/21	火	04. 応急手当の意義とその基本 05. 日常的な応急手当 06. 心肺蘇生法		○	
16	11/4	火	3単元 01. ライフステージと健康～02. 思春期と健康		○	
17	11/11	火	03. 性意識と性行動の選択		○	
	11/18	火	後期中間試験			
18	11/25	火	試験返却 04. 妊娠・出産と健康	○		
19	12/2	火	05. 避妊法と人工妊娠中絶～06. 結婚生活と健康	○		
20	12/16	火	07. 中高年期と健康～08. 働くことと健康		○	
21	1/13	火	09. 労働災害と健康～10. 健康的な職業生活		○	
22	1/20	火	4単元 01. 大気汚染と健康～02. 水質汚濁，土壌汚染と健康		○	
23	1/27	火	03. 環境と健康にかかわる対策～04. ごみの処理と上下水道の整備		○	
24	2/3	火	05. 食品の安全性～06. 食品衛生にかかわる活動		○	
25	2/10	火	07. 保健サービスとその活用～08. 医療サービスとその活用～09. 医薬品の制度とその活用		○	
26	2/17	火	10. さまざまな保健活動や社会的対策～11. 健康に関する環境づくりと社会参加		○	
27	2/19	木	後期末試験			
	3/3	火	試験返却	○		



教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位	年間	田端 経方

## 指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	A. 全 26 回	面接指導： A. 20 回 B. 20 回	教科書	現代高等保健体育
	B. 全 24 回	講 義： A. 6 回 B. 4 回		
レポート	全 2 回	添削指導： 2 回	学習 図書	自校作成の教材資料を 使用
定期試験	なし	その他： 0 回		
定期試験の評価割合	なし	学 期： 0 回	副教材	なし
		評定算出方法 100 法 5 段階評定		

回	A	B	曜日	単元・学習内容		面接指導		講義		レポート (締切期日)
						A	B	A	B	
1	4/16	4/23	水	A. ガイダンス 集団行動	B. ガイダンス 集団行動	○	○			第1回 配布
2	4/16	4/23	水	A. バドミントン①	B. バドミントン①	○	○			第1回 回収
3	5/7	5/14	水	A. バドミントン②	B. バドミントン②	○	○			
4	5/7	5/14	水	A. バドミントン③	B. バドミントン③	○	○			
5	5/21	5/28	水	A. バドミントン④ 試験	B. バドミントン④ 試験	○	○			
6	5/21	5/28	水	A. バドミントン⑤ 試験	B. バドミントン⑤ 試験	○	○			
7	6/11	6/18	水	A. バドミントン⑥	B. バドミントン⑥			○	○	
8	6/11	6/18	水	A. バドミントン⑦	B. バドミントン⑦			○	○	
9	6/25	7/2	水	A. バドミントン⑧	B. バドミントン⑦	○	○			
10	6/25	7/2	水	A. バドミントン⑨	B. バドミントン⑦	○	○			
11	7/9	9/3	水	A. バドミントン⑩	B. バレーボール①	○	○			
12	7/9	9/3	水	A. バドミントン⑪	B. バレーボール②	○	○			
13	10/1	10/8	水	A. バレーボール①	B. バレーボール③	○	○			第2回 配布
14	10/1	10/8	水	A. バレーボール②	B. バレーボール④	○	○			第2回 回収
15	10/15	10/22	水	A. バレーボール③	B. バレーボール⑤			○	○	
16	10/15	10/22	水	A. バレーボール④	B. バレーボール⑥			○	○	
17	10/29	11/5	水	A. バレーボール⑤ 試験	B. バレーボール⑦ 試験	○	○			
18	10/29	11/5	水	A. バレーボール⑥ 試験	B. バレーボール⑧ 試験	○	○			
19	11/26	12/3	水	A. バレーボール⑦	B. バレーボール⑨	○	○			
20	11/26	12/3	水	A. バレーボール⑧	B. バレーボール⑩	○	○			
21	1/14	1/21	水	A. バレーボール⑨	B. バレーボール⑪	○	○			
22	1/14	1/21	水	A. バレーボール⑩	B. バレーボール⑫	○	○			
23	1/28	2/4	水	A. バレーボール⑪	B. バレーボール⑬		○	○		
24	1/28	2/4	水	A. バレーボール⑫	B. バレーボール⑭		○	○		
25	2/18		水	A. バレーボール⑬		○				
26	2/18		水	A. バレーボール⑭		○				

教科	科目		期間	担当者
保健体育	体育	単位数： 2 単位	年間	田端 経方

## 指導目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

スクーリング	全20回	面接指導： 20回 講義： 0回	教科書	現代高等保健体育
レポート	全2回	添削指導： 2回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学期： 0回		
定期試験の評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定	副教材	なし

回	A	B	曜日	単元・学習内容		面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	4/21	月	A. ガイダンス 集団行動	B. ガイダンス 集団行動	○		第1回 配布
2	4/14	4/21	月	A. バドミントン①	B. バドミントン①	○		第1回 回収
3	4/28	5/12	月	A. バドミントン②	B. バドミントン②	○		
4	4/28	5/12	月	A. バドミントン③	B. バドミントン③	○		
5	5/19	5/26	月	A. バドミントン④ 試験	B. バドミントン④ 試験	○		
6	5/19	5/26	月	A. バドミントン⑤ 試験	B. バドミントン⑤ 試験	○		
7	6/9	6/30	月	A. バドミントン⑥	B. バドミントン⑥	○		
8	6/9	6/30	月	A. バドミントン⑦	B. バドミントン⑦	○		
9	7/7	9/1	月	A. バレーボール①	B. バレーボール①	○		
10	7/7	9/1	月	A. バレーボール②	B. バレーボール②	○		
11	9/29	10/6	月	A. バレーボール③	B. バレーボール③	○		第2回 配布
12	9/29	10/6	月	A. バレーボール④	B. バレーボール④	○		第2回 回収
13	10/20	11/10	月	A. バレーボール⑤	B. バレーボール⑤	○		
14	10/20	11/10	月	A. バレーボール⑥	B. バレーボール⑥	○		
15	11/17	12/1	月	A. バレーボール⑦ 試験	B. バレーボール⑦ 試験	○		
16	11/17	12/1	月	A. バレーボール⑧ 試験	B. バレーボール⑧ 試験	○		
17	12/8	12/15	月	A. バレーボール⑨	B. バレーボール⑨	○		
18	12/8	12/15	月	A. バレーボール⑩	B. バレーボール⑩	○		
19	1/19	1/26	月	A. バレーボール⑪	B. 体育理論	○		
20	1/19	1/26	月	A. バレーボール⑫	B. 体育理論	○		

## 2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者		
書道	書道I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	石見 仁唯奈		
指導目標						
1. 古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形を捉える						
2. 作品や書の伝統を見つめ、創作作品での表現を工夫する						
3. 書の表現の方法や形式、多様性に理解を深め効果的に表現するための技能を身につけるようにする						
スクーリング	全 20 回	面接指導： 12回 講義： 2回	教科書	光村図書 書道 I		
レポート	全 6 回	添削指導： 6回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用		
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	プリント		
定期試験の 評価割合	なし	評定算出方法 100法5段階評定				
回	日付	曜日	単元・学習内容	面接 指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14. 21	月	書道I導入、ペン字教習		○	第一回 (4/28. 5/12)
2	4/28. 5/12	月	毛筆...楷書を学ぶ①「九成宮醜泉銘」	○		
3	5/19. 26	月	毛筆...楷書を学ぶ②「九成宮醜泉銘」	○		第二回 (5/19. 26)
4	6/9. 30	月	漢字仮名交じり①創作への取組み(文化祭)	○		
5	7/7. 9/1	月	漢字仮名交じり②創作への取組み(文化祭)	○		第三回 (7/7. 9/1)
6	10/6. /20	月	毛筆...楷書を学ぶ③「雁塔聖教序」	○		
7	11/10. 17	月	毛筆...楷書と行書の違いを学ぶ①「蘭亭序」		○	第四回 (11/10. 17)
8	12/1. 8	月	仮名について学ぶ①「いろは」	○		第五回 (12/1. 8)
9	12/15. 1/19	月	仮名について学ぶ②「高野切」「蓬莱切れ」	○		第六回 (12/15. 1/19)
10	1/26.	月	創作 自分の好きな言葉を書こう	○		

2025年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田調理師専門学校2B

教科	科目		期間	担当者
芸術	美術1		単位数：2単位 [標準単位：2単位] 年間	沼田 健
<b>指導目標</b> 1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。 2. 美術に関する専門的な知識や技能を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。				
スクーリング	全 26 回	面接指導：16 回 講義：10 回	教科書	光村図書美術1
レポート	全 7 回	添削指導：6 回 その他：1 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	配布プリント
定期試験の 評価割合	%			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/23	水	オリエンテーション 自分すごろくを描く	○		第1回 (5/7)
2	4/23	水	鉛筆の練習、線の抑揚の練習、構図の練習	○		
3	5/14	水	基礎形態のデッサン、グレースケール		○	
4	5/14	水	大顔面で陰影の練習	○		第2回 (5/21)
5	5/28	水	色彩	○		
6	5/28	水	色彩		○	
7	6/18	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)	○		第3回(7/9)
8	6/18	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)	○		
9	7/2	水	ゼンタングル		○	
10	7/2	水	ゼンタングル	○		7/19~9/2授業なし
11	7/9	水	仮面デザイン	○		
12	7/9	水	仮面デザイン		○	
13	9/3	水	バラバラ漫画	○		第4回(10/15)
14	9/3	水	バラバラ漫画	○		
15	10/8	水	バラバラ漫画		○	
16	10/8	水	バラバラ漫画	○		第5回(11/26)
17	10/22	水	イラストレーション、漫画表現	○		
18	10/22	水	イラストレーション、漫画表現		○	
19	11/5	水	イラストコラム	○		第6回(1/28)
20	11/5	水	イラストコラム	○		
21	12/3	水	ロゴデザイン		○	
22	12/3	水	ロゴデザイン	○		第7回(2/18)
23	1/21	水	切り絵	○		
24	1/21	水	切り絵		○	
25	2/4	水	抽象表現、デペイズマン		○	第7回(2/18)
26	2/4	水	抽象表現、デペイズマン		○	

2025年度 年間教育計画（シラバス）

面接指導施設：町田調理師専門学校2B

教科	科目		期間	担当者
芸術	美術I		単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間 沼田 健
指導目標				
1. 美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようにする。 2. 美術に関する専門的な知識や技能を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 3. 主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。作品を作り上げる喜びを味わう。				
スクーリング	全 26 回	面接指導：16 回 講義：10 回	教科書	光村図書美術I
レポート	全 7 回	添削指導：6 回 その他：1 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	学 期： 回	副教材	配布プリント
定期試験の評価割合	%			

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	水	オリエンテーション 自分すごろくを描く	○		第1回 (5/7)
2	4/16	水	鉛筆の練習、線の抑揚の練習、構図の練習	○		
3	5/7	水	基礎形態のデッサン、グレースケール	○		
4	5/7	水	大顔面で陰影の練習	○		
5	5/21	水	色彩	○		第2回 (5/21)
6	5/21	水	色彩		○	
7	6/11	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)	○		
8	6/11	水	デザインの実践(色紙での色彩構成)		○	
9	6/25	水	ゼンタングル	○		第3回(7/9)
10	6/25	水	ゼンタングル		○	
11	7/9	水	仮面デザイン	○		
12	7/9	水	仮面デザイン		○	
7/19~9/2授業なし						
13	10/1	水	バラバラ漫画	○		第4回(10/15)
14	10/1	水	バラバラ漫画	○		
15	10/15	水	バラバラ漫画	○		
16	10/15	水	バラバラ漫画		○	
17	10/29	水	イラストレーション、漫画表現	○		第5回(11/26)
18	10/29	水	イラストレーション、漫画表現		○	
19	11/26	水	イラストコラム	○		
20	11/26	水	イラストコラム		○	第6回(12/28)
21	1/14	水	ロゴデザイン	○		
22	1/14	水	ロゴデザイン		○	
23	1/28	水	切り絵	○		
24	1/28	水	切り絵		○	第7回(2/18)
25	2/18	水	抽象表現、デパイズマン	○		
26	2/18	水	抽象表現、デパイズマン		○	

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
英語	英語コミュニケーション I (1年次)	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂朝子

指導目標

1. 教材を通して、世界の文化、自然についての理解を深める。
2. 英語に対する苦手意識をなくし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
3. 平易な英文のリスニング、スピーキング、ライティングの基礎を固める。

スクーリング	全 29 回	面接指導：16回 講義：3回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)
レポート	全 6 回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期：2回 後期：2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/16	水	Warm-up 1	○		第1回(5/21)
2	4/23	水	Warm-up 2	○		
3	5/7	水	Warm-up 3		○	
4	5/14	水	Pre-Lesson 1	○		
5	5/21	水	Pre-Lesson 2			
6	5/28	水	試験対策・be 動詞と一般動詞	○		第2回(6/25)
7	6/		前期中間試験			
8	6/11	水	試験返却・Lesson 1 ①	○		
9	6/18	水	Lesson 1 ②		○	第3回(7/9)
10	6/25	水	Lesson 1 ③			
11	7/2	水	Lesson 1 まとめ(1)	○		第4回(10/22)
12	7/9	水	Lesson 1 まとめ(2)		○	
13	9/3	水	試験対策・過去形	○		第5回(11/5)
14	9/		前期期末試験			
15	10/1	水	Lesson 2 ①	○		
16	10/8	水	Lesson 2 ②	○		
17	10/15	水	Lesson 2 ③			第6回(2/18)
18	10/22	水	Lesson 2 ④		○	
19	10/29	水	Lesson 2 まとめ	○		第6回(2/18)
20	11/5	水	試験対策・進行形	○		
21	11/		後期中間試験			第6回(2/18)
22	11/26	水	試験返却・Lesson 3 ①	○		
23	12/3	水	Lesson 3 ②		○	
24	1/14	水	Lesson 3 ③	○		
25	1/21	水	Lesson 3 ④		○	
26	1/28	水	Communication 2 道案内	○		
27	2/4	水	助動詞	○		
28	2/18	水	試験対策	○		
29	2/		後期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
英語	英語コミュニケーションⅠ (2年次)	単位数： 2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂 朝子

指導目標

1. 国内外の自然、文化に対する理解を深める。
2. 教科書レベルの平易な文を聞き取り、理解できるようにする。
3. 教科書レベルの平易な文で自分の意思を伝えられるようにする。

スクーリング	全 27 回	面接指導： 16 回 講義： 1 回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	Warm-up / Lesson 4 ①	○		第1回(5/19)
2	4/21	月	Lesson 4 ②			
3	4/28	月	Lesson 4 ③	○		
4	5/12	月	Lesson 4 ④			
5	5/19	月	Lesson 4 ④	○		
6	5/26	月	Lesson 4 まとめ / 試験対策	○		第2回(5/26)
7	6/		前期中間試験			
8	6/9	月	試験返却 / Lesson 5 ①	○		第3回(6/30)
9	6/16	月	Lesson 5 ②			
10	6/23	月	Lesson 5 ③	○		
11	6/30	月	Lesson 5 ④		○	
12	7/7	月	Lesson 5 まとめ			第4回(7/7)
13	9/1	月	試験対策	○		
14	9/		前期期末試験			
15	10/6	月	Lesson 6 ①	○		第5回(11/17)
16	10/20	月	Lesson 6 ②	○		
17	11/10	月	Lesson 6 ③			
18	11/17	月	Lesson 6 まとめ / 試験対策	○		
19	11/		後期中間試験			
20	12/1	月	試験返却 / Lesson 7 ①	○		第6回(2/9)
21	12/15	月	Lesson 7 ②	○		
22	1/19	月	Lesson 7 ③	○		
23	1/26	月	Lesson 7 ④	○		
24	2/2	月	Lesson 7 ⑤			
25	2/9	月	Lesson 7 まとめ	○		
26	2/16	月	試験対策	○		
27	3/		後期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
英語	英語コミュニケーション I (3年次)	単位数：2単位 [標準単位：2単位]	年間	井坂朝子

指導目標

1. 英語を通じて、日本や世界の歴史に目を向け、視野を広げる。
2. 習得した英語を使い、自分意思を伝えられるようにする。
3. 習得した英語を使った相手の考えを聞き取り、理解できるようにする。

スクーリング	全 24 回	面接指導：14回 講義：0回	教科書	All Abroad! English Communication I (東京書籍)
レポート	全 6 回	添削指導：6回 その他：0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期：2回 後期：2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/14	月	Warm-up / Lesson 8 ①	○		第1回(4/14)
2	4/21	月	Lesson 8 ②			
3	4/28	月	Lesson 8 ③	○		
4	5/12	月	Lesson 8 ④			
5	5/19	月	Lesson 8 まとめ / Lesson 9 ①	○		第2回(5/19)
6	5/26	月	Lesson 9 ② / 試験対策			
7	6/		前期中間試験			
8	6/9	月	試験返却 / Lesson 9 ③	○		
9	6/30	月	Lesson 9 ④			第3回(7/7)
10	7/7	月	Lesson 9 まとめ	○		
11	9/1	月	試験対策	○		
12	9/		前期期末試験			
13	9/29	月	Lesson10 ①	○		第4回(10/20)
14	10/6	月	Lesson10 ②	○		
15	10/20	月	Lesson10 ③	○		
16	11/10	月	Lesson10 まとめ			第5回(11/10)
17	11/17	月	試験対策	○		
18	11/		後期中間試験	○		
19	12/1	月	Reading①	○		第6回(1/19)
20	12/8	月	Reading②			
21	12/15	月	Reading③	○		
22	1/19	月	Reading④			
23	1/26	月	試験対策	○		
24	2/		後期期末試験			

教科	科目		期間	担当者
家庭	家庭基礎		年間	中野 都子
単位数：2単位 [標準単位：2単位]				
<b>指導目標</b> 1. 家庭管理における基礎的な知識を得る。 2. 得た知識を活用して、豊かな生活を送れるようにする。 3. 自立に向けて生活技術を身に付ける。				
スクーリング	全 33 回	面接指導： 17 回 講義： 6 回	教科書	大修館書店 クリエイティブ・リビング
レポート	全 6 回	添削指導： 6 回 その他： 0 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の評価割合	70%	評定算出方法100法5段階評定(評価点=素点70%+平常点30%) 素点は定期試験の平均点 平常点はレポート点と出席点とする		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート(締切期日)
1	4/11	金	第1章 生活のマネジメント	○		
2	4/18	金	第2章 青年期の課題と自立		○	第1回 (4/24)
3	4/25	金	第2章 青年期の課題と自立 (添削指導)			
4	5/9	金	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族・家庭・世帯	○		第2回 (5/23)
5	5/16	金	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族関係	○		
6	5/23	金	第3章 家族・家庭生活のマネジメント—家族と法律 (添削指導)			
7	5/30	金	中間試験範囲の復習		○	
8	6/2(月)～6/5(金)		前期中間試験			
9	6/6	金	試験返却・解答 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	○		
10	6/13	金	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—子どもの世界を知る	○		第3回 (6/27)
11	6/20	金	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—胎児の発育		○	
12	6/27	金	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント—乳児の成長・発達 (添削指導)			
13	7/4	金	第5章 高齢期の生活のマネジメント—高齢者の心身の特徴	○		
14	7/11	金	第5章 高齢期の生活のマネジメント—高齢者の心身の特徴	○		
15	9/5	金	期末試験範囲の復習		○	
16	9/8(月)～9/12(金)		前期期末試験			
17	9/26	金	第6章 共生社会をつくる—家族・家庭を支える福祉	○		
18	10/3	金	第6章 共生社会をつくる—社会保障と地域福祉	○		第4回 (10/10)
19	10/10	金	第6章 共生社会をつくる—社会保障と地域福祉 (添削指導)			
20	10/17	金	第8章 経済生活のマネジメント—家計の構造と社会	○		第5回 (11/7)
21	10/31	金	第8章 経済生活のマネジメント—経済計画とリスク管理	○		
22	11/7	金	第8章 経済生活のマネジメント—消費と契約 (添削指導)			
23	11/14	金	期末試験範囲の復習		○	
24	11/18(火)～11/21(金)		後期中間試験			
25	11/28	金	試験返却・解答 第10章 衣生活のマネジメント	○		
26	12/5	金	第10章 衣生活のマネジメント—被服材料と機能	○		
27	12/12	金	第10章 衣生活のマネジメント—被服材料と機能	○		
28	1/9	金	第11章 衣生活マネジメント—被服の管理	○		第6回 (1/16)
29	1/16	金	第11章 衣生活マネジメント—被服の管理 (添削指導)			
30	1/23	金	第11章 住生活のマネジメント—住まいの機能と住まい方	○		
31	2/6	金	第11章 住生活のマネジメント—住要求の特徴と住生活	○		
32	2/13	金	後期期末までの振り返り		○	
33	2/19(月)～2/27(金)		後期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
情報	情報 I	単位数： 2 単位 [標準単位： 2 単位]	年間	糸賀 雅史 ‘
指導目標				
1. 情報社会に対応するのに必要な知識と技能を習得する。 2. 課題や目的に応じた情報手段の活用や発信・伝達する能力など情報活用の実践力を身に着ける。 3. 情報手段の特性の理解など情報の科学的な理解社会での情報技術が果たしている役割への理解を深める 4. 以上を通じて情報社会に適切に参画する態度を身に着ける。				
スクーリング	全 27 回	面接指導： 8 回 講義： 9 回	教科書	実教出版 図説 情報 I
レポート	全 10 回	添削指導： 6 回 その他： 4 回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	あり	前期： 2 回 後期： 2 回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合	70 %	評定算出方法 100法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1	4/17	木	情報社会と私たち	○		第1回(5/8)
2	4/24	木	情報の管理と保護		○	
3	5/8	木	知的財産権	○		第2回(5/22)
4	5/15	木	著作権		○	
5	5/22	木	情報セキュリティ1			第3回(6/5)
6	5/29	木	情報セキュリティ2		○	
7	6/5	木	前期中間試験		○	
8	7/3	木	問題解決とアルゴリズム	○		第4回(7/17)
9	7/10	木	KJ法		○	
10	7/17	木	メディアの機能と特性			第5回(9/11)
11	9/4	木	メディアリテラシーとコミュニケーション		○	
12	9/11	木	前期期末試験			
13	9/25	木	さまざまな情報システム	○		第6回(10/9)
14	10/2	木	モデル化とシミュレーション			
15	10/9	木	デジタル表現の特徴と2進数と情報量	○		第7回(11/6)
16	10/16	木	数値のデジタル表現1		○	
17	10/30	木	数値のデジタル表現2			
18	11/6	木	文字のデジタル表現	○		第8回(12/4)
19	11/20	木	後期中間試験		○	
20	11/27	木	音声・画像のデジタル表現		○	
21	12/4	木	圧縮とファイル形式	○		第9回(1/8)
22	12/11	木	さまざまな情報機器		○	
23	12/18	木	ハードウェアとソフトウェア			
24	1/8	木	ビジュアルプログラミング	○		第10回(2/5)
25	1/22	木	ネットワークの仕組み		○	
26	1/29	木	TCP/IP			
27	2/5	木	後期期末試験			

2025年度年間教育計画

面接指導施設：町田調理師専門学校

教科	科目		期間	担当者
国語	高校現代文明論	単位数： 1単位	後期	遠藤寿一
指導目標				
1. 社会や人生における課題や矛盾についてその原因を考える。 2. 「社会が内包する矛盾」を解決する、さまざまな方法を考える。 3. 自己の能力をいかに社会のために活用し役立てるか、その方法を考える。				
スクーリング	全 5 回	面接指導： 3回 講義： 2回 (出席回数3回以上)	教科書	『新編 高校現代文明論』 (東海大学出版会)
レポート	全 3 回	添削指導： 3回 その他： 0回	学習図書	自校作成の教材資料を使用
定期試験	なし	後期： 2回	副教材	配布プリント その他
定期試験の 評価割合		評定算出方法 100点法5段階評定		

回	日付	曜日	単元・学習内容	面接指導	講義	レポート (締切期日)
1			校長講話(1年次に実施)		○	
2			主権者教育(2年次に実施)		○	
3	9/5	金	現代文明論とは ・現代文明論の成り立ち ・現代文明論のめざすところ ・東海大学の建学の精神 ・東海大学の学び	○		レポート第1回
4	10/3	金	さまざまなものの見方、考え方 ・これまでの学びと、これからの学び ・高校現代文明論がめざすところ ・高校現代文明論の目的 ・「思想を培う」ための具体的な目標 ・環境問題を例にして考えてみよう	○		レポート第2回
5	10/10	金	知的財産について考える ・知的財産とは？ ・知的財産権とは？ ・知的財産保護の目的 ・なぜ「知的財産」について勉強するの？ ・知的財産をめぐる諸問題	○		レポート第3回